

社会で役立つ実践力

POWER
UP

ビジネスをサイエンスする

赤穂高校商業科

経済社会で役立つスキルを身につける

地域社会の問題を考え貢献する

困難な課題を突破する力を育てる

3 年課題研究

やっちゃんえ赤穂！プロジェクト

通信 vol. 049

お手伝いプロジェクト班 12月26日(月)

ソースかつ棒 売上金56,300円を 熊本地震被災者支援義援金

として熊本市へ送りました！

長野日報12/23掲載

赤穂高商業科3年のプロジェクト 授業成果で熊本支援



熊本市への義援金を手にする
赤穂高「やっちゃんえ赤穂！
プロジェクト」のメンバー

同校創立100周年を記念し、地域貢献しようとの狙いで今年度設けた課題授業「やっちゃんえ赤穂！プロジェクト」の一環、受講した13人が自分たちで考えた課題に挑み、駒ヶ根名物ソースかつ棒を基にした「ソースかつ棒」の開発、地元商店街のクイーンズ製作などに取り組んだ。

課題を深める中で、被災地支援がまず頭にふってきた」と話すのは遠山さん(18)と新井さん(18)。「募金などで現金を集めるだけでは商業科の取り組みにならない」と考え、キャラクターの使用許可を得てうちわを製作し、市

民営祭りや同校文化祭で販売した。

2人は26日、ソースかつ棒の収益金も持ち、市役所を訪れた。当初は市に寄付し、日本赤十字社を通じて送金する予定だったが、高校生の思いが伝わる形で「しのぎ本幸治市長の提案で、生徒自らが熊本市に送ることに。近日中に手紙も書く予定で、2人は仮設住宅での生活が続くなど被災地は大変だと思っ、少しでも早く復興してほしい」と願っていた。

商品販売の収益を義援金に

商業の学びを地域に生かそうと、商品開発や市街地活性化に取り組んだ赤穂高校(駒ヶ根市)商業科の3年生が、活動の収益金を熊本地震の被災地に贈る。独自に商品化し販売した熊本市のマスケットキャラクター「くまモン」のうちわなどの収益5万6300円を義援金に。今後は行政の協力を得ながら、生徒の活動を振り返る年報紙や手紙を添えて被災地に送る計画だ。

(唐澤翔)

